



各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

日本 YEG VOL.50



平成21年3月号

発行 日本商工会議所青年部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2
日本商工会議所 中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 <http://yeg.jp/>
広報委員会
編集 林 隆男
委員長 林 隆男
副委員長 國武正義 / 小川智之
委員 数田 学 / 樹田伊佐雄 / 村中洋祐 / 下田 剛
山下元一郎 / 山村玲二 / 吉田修 / 樋口雅之
河合幸雄 / 度会尚志 / 谷本保明 / 笹原司和
鳥越清和 / 鈴木一生 / 後藤英彦

1年間ありがとうございました。

日本商工会議所青年部

工藤 哲弘 会長



「Let's TRY! YEGスクラムで、ビジネスフィールドを突っ走れ!」のスローガンを掲げ、昨年4月にキックオフした平成20年度も振り返れば瞬く間の1年間でした。運営方針である「YEGスクラムの強化」「ビジネスフィールドの拡大」「真の経営者・リーダーづくり」の3つのテーマに沿って事業を展開し、また全国の連合会組織として「1人の声は小さくても、10,000人の声は国をも動かすのだ!」という思いで、全国各地の声を聞き、精査・取纏めし日本商工会議所を通じて関係省庁等へ建議できるよう1年間活動をしてまいりました。

地域色あふれたブロック大会。雄大なびわ湖を眼前に商人道を学び交流を深めた全国大会びわ湖大津大会。熱い議論をかわし未来ビジョンを思い描いた全国会長研修会浜松会議。参加者との対話を大切にした翔生塾・ビジネスプランコンテストなど盛り沢山の研修事業。YEGスクラムを強化するため改良に工夫を凝らした事業データベースリニューアルやYEG大賞。ビジネスフィールドも拓けるご縁満開ビジネスサイトリニューアルや全国ビジネス交流会。その他にも対談、CACCI、風会議等枚挙に暇がありません。そして、これらの事業のたびにそれに関わるYEGメンバーの情

熱とひたむきな姿をいつも目の当たりにし、また地域に愛情をそそぎ地域の未来に向かって真剣に真面目に取り組むYEGメンバーと数多く触れさせて頂きました。

このことを通じ、自信をもって言えます。このような厳しい時代だからこそ、YEGが真のリーダーとして立ち上がる時だと。地域にひいては日本に元気と活力を与えるはわれわれYEGだと。そしてそのためのサポートをし、また時には牽引していくのがわれわれ日本YEGの役割なのだ。

全国の連合会組織の会長として、常に立ち位置を各地YEGのサポーター・お世話係りに置き、利用価値の高い日本YEGを目指し運営してきたつもりでございます。皆さまの活動に少しでもお役に立てたのなら、この上なく幸せです。

平成20年度が終わり、山内会長率いる素晴らしいスタッフが勢揃いして平成21年度がはじまりました。「YEGスクラム」から「One Team!」へ、一丸となって全国のYEGとともに邁進していただけると確信しています。引き続き日本YEGに倍旧のご声援をいただきますことを切にお願いいたします。

結びに、まっしぐらに走ることはできない私に最後までおつきあい頂き、いつも暖かく支えて下さいました全国各地のYEGメンバーの皆さま、地元でバックアップしてくれた大分YEG・大分県連の皆さま、そして獅子奮迅の素晴らしい活躍をしてくれた平成20年度出向の仲間たち、本当に一年間ありがとうございました。沢山のかけがえのないご縁に感謝!!



(千葉YEG) **山内 毅**
副会長

平成20年度を振り返り、一言ご挨拶させていただきます。工藤会長のもと、日本YEGに素晴らしい人材が集まってきました。数多い事業を事も無げに処理していく皆の姿を見て、いつも頼もしく思っていました。本当にありがとうございました。

春のブロック会長会議と秋のブロック大会における会長会議に9ブロックをまわらせていただいたのも良い思い出であります。副会長として、日本のさまざまな地域を訪れ、語り・交流することで日本の広さをあらためて感じ、かつYEGの持つポテンシャルを再確認できた1年であったと思います。

平成21年度は会長職を務めさせていただきますが、今年度培ってきたYEGスクラムを崩すことなく One Team! で進んでいきたいと思ひます。
“皆様と共に”参りたいと思ひます。今後とも、よろしくお願ひいたします。



(石狩YEG) **大平 修二**
副会長

思い起こせば、2年前に北海道プロ代に就任した時に工藤会長と知り合い、そこから工藤会長率いる執行部メンバーに参画することになりました。前半は仕事の関係等で何かと出席するのが儘ならず、広報委員長やメンバーに迷惑をかけましたが、何とか後半で取り戻すことができました。お陰で翔生も年に3回も発行し石垣やメルマガも充実した内容となり、東地区は一本化出来非常に良くなったと自負しています。これを機会にプロ代とは違った達成感や充実感に満ち溢れた1年を過ごすことができました。これを詩に歌うなら

「残る桜も散る桜 桜は風を恨みません」

どうぞ工藤会長から山内会長へ4月には満開の桜を咲かせて下さい。



(刈谷YEG) **神野 公秀**
副会長

忙しく、大変な一年ではありましたが、多くの方と出逢い、新たな経験を沢山させて頂いた有意義な一年でした。また、楽しく、充実した時間を全国の各地で過ごさせて頂きました。お世話になったすべての人々に『感謝』の気持ち一杯です。しかし、半面、中地区・企画委員会の担当として、また会長のサポート役としての副会長職を全うできたか…と言うと足りなかった事が多く、反省すべき点が多々あり申し訳なく思っています。自分としては常に持てる力を最大限発揮して頑張ってきましたが、足りない事が多く、周りの方々にご迷惑をおかけしてしまいました。どうかYEGの友情をもってお許しを頂ければと思います。今後は、今年得た経験と多くの人との繋がりを生かし、更なる成長を目指し、そして、地域活性のお役に立てるよう頑張っていきたいと思ひます。また何処かでお逢ひできましたら、是非お声を掛けて頂ければ幸いです。一年間大変お世話になりました。



(総社YEG) **坪井 祥隆**
副会長

21年間のYEG活動の中でこれほどYEGを生活の一部に感じた年はありません。多くの友と出逢い、いろんなことを体験させて頂きました。副会長としては、力不足だったかもしれません。ただ汗をかくこと、行動すること、心くばりをするのみを考えて突っ走った一年でした。その気持ちをくんで行動してくれた08研修委員会と08ビジネス推進委員会のメンバーには心より感謝致します。そしてスクラムを組んで突き進んでくれた08出向者の皆さん、わがままな日本YEGを暖かく見守ってくれた宮城常務理事をはじめ日商担当部署の皆さんにも心より御礼申し上げます。“人生意気に感じる”と言う言葉がありますが、そこに素晴らしい友がいるから出かける。仲間が困っているから応援する気持ちはこれからのYEGには必要不可欠のものになるでしょうね。「ああやっ、卒業することが出来ます。何事もなく無事に?」工藤会長、本当にありがとうございました。とても素晴らしい経験が出来ました。

私は、YEGとして夢に挑む 私たちは、YEGとして地域を愛する 全てのYEGは、連帯の証となる 全ての人に感謝 YEGの友情に感激 YEGに感動 Let's TRYの精神で、YEGスクラムで これからのビジネスフィールドを突っ走ります。



(彦根YEG) **上田 健一郎**
専務理事

全国各地のYEGの皆様、本年度ともに活動した日本YEG出向者の皆様、一年間大変お世話になりました。出向4年目、いつも「頼まれ事は、試され事」の精神で目一杯背伸びしてやってきましたので、ご迷惑をお掛けした点も多々あったと思ひますが、皆さま方のお力添えで一年間活動することができました。心から感謝申し上げます。

「Let's TRY! YEGスクラムで、ビジネスフィールドを突っ走れ!」このスローガンは、事業計画を練る準備初期に工藤会長が事業の方向性を率直に語った時のキーワード「真の経営者」「連結器」「ビジネス」から導かれたものです。平成20年度は、このスローガンのもと事業を展開するとともに「1人の声は小さくても、10,000人の声は国をも動かすのだ!」という工藤会長の考えから提言活動も活発に行っていました。本年度の活動を通じて、少しでも皆様方のお役に立てたならこの上ない喜びです。

YEG最終年度として素直に出てくる言葉は、『YEGは経営者としての資質と人格を陶冶する絶好の場である。』ということです。YEGに育てて頂いた心の底から思っています。多くのかげがえのないご縁に恵まれ、素晴らしいYEGフィールドで活動できたことを誇りに思ひます。

最後に、YEGの更なる発展を祈念するとともに今後はOBとして静かに見守り応援し続けることをお約束申し上げ、締めくくりの言葉といたします。一年間、本当にありがとうございました。

一年を振り返って

一年を振り返って

総務委員長



小林 晃
(須坂 YEG)

年度当初に「総務委員会は日本YEGの円滑な活動の一助となり、各地単会のお役に立てるよう、…」と事業計画に書きました。そのためには、連合会である日本YEGのスクラム強化がキーワードでありました。コミュニケーションツールとしてのエンジェルタッチの活用、会長アカウントの引継ぎは最低条件であり、それを元に総会運営、YEG大

賞事業の実施、YEG事業ナビの充実と繋がっていくのだと。

と、かっこいいことを書いてみましたが、正直なところ、結果として会長アカウントの引継ぎ100%達成がすべての事業の成功に結びついた、…というのが本音であります。

ご協力いただきました全国の会長、メンバー、そして大きな力を与えてくださった事務局の皆様、ありがとうございました。

また、総務委員会に紳士で有能なメンバーを送り込んでいただいた、それぞれの単会の皆様、日本YEG出向者、事務局の皆様にも感謝申し上げます。

「ありがとうございました！」

企画委員長



甲斐信孝
(大分 YEG)

全国各地の今年度ブロック大会を開催された皆様、その節は大変お世話になりました。ありがとうございました。

私自身、日本YEGへ出向する前に、九州ブロック大会を開催した経験もありました。従って、開催に当たり、日本YEGとブロック大会主管地との間において、様々な問題点があることも感じておりました。誤解を恐れずに敢えて言うと、その問題点のひとつには、日本YEGが「上から目線」で、大会運営に対し指図する、というような感覚を、主管地の皆さんに抱かせてしまう…。

式典の運営に当たっては日本YEGと主管地が協力して行いますので、どうしても、日本YEGとしても、運営上の諸問題の「適否」を判断する、という立場で臨まなければならないという面はあります。しかし、式典のリハーサルに向かう時に(もちろんその前の開催地連絡会議なども含め)その態度、お断りの言い方一つで、企画委員会ひいては日本YEGのイメージを、より近い存在として感じていたように変えられるのではないかと、この想いをもちながら全国9箇所を廻らせていただきました。

どの大会もプロ代、大会会長、実行委員長の皆さんを始めとする主管地の皆さんの想いのいっぱい詰まった素晴らしい大会でした。

また、全国大会びわ湖大津大会、全国会長研修会浜松会議、両大会・会議におかれましても、主管地の皆さんの長年の想いが結実した、思い出に残る大会・会議であったと思います。

滋賀県連、浜松YEGの皆様、ありがとうございました。そして、最後に、このような私を、委員長として一年間支えてくれた委員の皆さん、本当にありがとうございました。

研修委員長



水野久美子
(浜松 YEG)

参加型事業

【ビジネスプランコンテスト・翔生塾】
参加者の方々から、事業内容はもちろんYEG一員としての誇りも実感できたという声が多々届いたのが何よりの喜びでした。今後、まずは参加いただいたメンバーさんの単会から少しずつ波及されると嬉しい日本YEG研修委員会いच्छしの2事業でした。

募集事業

【オリエン&会員増強資料集・研修の宝箱・YEGギネスレコード2008】

春・秋の会長会議でのPRを初め、様々なお力添えをいただき、沢山のデータをまとめて形にする事が出来ました。今から、ここからは皆様の単会で大いに活用してください。

最後に..

7事業の企画運営をして参りました。委員会活動では一年間を通してメンバー全員でAT回答率100%、コソコソとビジネス交流タイムも続けてきました。『忙しい負担がかわかる』そんな見方もあるでしょう。しかし、それは最終的には「やった者の心」が決めると考えます。その形や量でなく経緯が大切なのです。想いをどう行動に移すか。本年度、共に創り、声掛けや参加、アドバイス等、お力添えをいただいた方々が実感された事を今後に活かしていただければこの一年間が意味あるものとなり幸いです。関わってくださった全ての皆さまに感謝の気持ちをたくさん込めて笑顔でお礼をお伝えしたいと思います。「ありがとうございました。」(詳しい一年間の報告は、翔生49号&日本YEG報告DVDに載っていますので、そちらもご覧ください)

広報委員長



林隆男
(宮若 YEG)

各ブロック大会へ

北は北海道岩見沢、南は九州荒尾と全国9つのブロック大会にお邪魔し、色々なドラマを取材する事が出来ると同時に、合縁奇縁に出会うことができました。単会の小さいという事ではなく、これから街の発展の為に頑張るんだという力強いものを感じました。日本YEGだからこそ当地に行けたと思います。

ホームページを管理して

各委員会が事業内容等々を企画立案している様子が詳らかに分かりました。いかに情報を一人でも多くの方に見てもらうかが最大のテーマだったと思います。

YEG俳句 商人道(あきんど) 三方よしは びわ湖から 浜松は 真のリーダー 研きけり

全国大会では商人道の原点を学び、この混迷した時代だからこそ、この勉強会が必要不可欠だと感じ、後世に残す責務だと思いビデオをまわしました。浜松会議では各テーブル毎のディスカッション等が執り行われ単会の会長を取材すると、すべての方たちが行ってよかったと喜んでいました。出向して一番に感じるのは、単会とは違った人達に出会いエネルギーをいただくことができる、それを持って帰ることにより、単会にフィードバックし、また自社企業の発展が地域を元気にしてい、貴重な体験学習だと思いました。人生で長いような短い貴重な一年でした。最後に、全国から委員会メンバーに偉才秀才を送ってくれた各県連会長・単会会長の皆様ありがとうございました。お陰様で無事に終わりました

ビジネス推進委員長



井谷智子
(吹田 YEG)

私が商工会議所青年部に入会したのは事業所の為に見識・見聞を深め経営の役にたつ情報を得る為です。委員長職は借越でございましたが、ビジネスに関係する委員会が担当で本望でございました。今年度、私を助けるため、また、YEGこそビジネスが基本だと思い配属希望をされたメンバー達がいてくれま

したことがとても心強く幸せでした。

また、出向に伴い、吹田商工会議所と青年部の皆様が応援して下さいましたこと、とてもうれしく感謝しております。一人では何も出来ませんが、工藤会長のスローガンのとおり、人が集まれば力になります。ビジネス推進委員会でその力をひしひしと感じました。私は委員長というのはまとめ役とっておりますが、委員長がしっかり引っ張っていかないとダメと注意されたこともありましたが、十人十色いろんなカラーの委員長があると思います。委員会メンバーのひとりでもこの一年、少しでも得るものがあり、ビジネス推進のメンバーでよかった、また、日本YEGに出向したい、後輩に行かせたいと思って頂ければ幸いです。

YEGビジョン推進委員長



尾山謙二郎
(富山 YEG)

一昨年の秋口に工藤会長より委員長の任を仰せつからせてから準備期間を含めた一年半が今終わりました。地域の為、国の為、個々の事業所のより健全な発展の為に限られた時間の中で、いったい自分に何が出来たのかを自己の中で真剣に煮詰め、火の玉になり活動をさせて頂き大変充実した時間を過ごさせて頂く事が出来ました。浅学非才な私にこの様な重要なポストを与えて下さった工藤会長をはじめ、委員会運営にお力添えを頂きました多くのYEGの皆様、また力強くバックアップをして頂いた富山YEGの皆様は心よりあつ感と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

そしてなによりも、当委員会に全国各地より集って頂き汗と涙と情熱を共有させて頂く事が出来た、そして素晴らしい同志の皆様方、一年間わがままを言い続けた私を支えていただき心より感謝を致します。本当にありがとうございました。我々が今年度の活動を通して積み上げた小石は僅かばかりのものです。しかしながら、我々の掛けた情熱は全国各地でふれ合った熱き同志であるYEGの皆様の心にとっくとっくと確信しております。ひとりでも多く日本の将来を憂う同志が増え、各々が自己の正義と責任の下に、己の石を積み上げる国 日本。そんな勇気と慈愛に満ち溢れた国になれる事を切に願います。最後になりますが、次年度山内会長を支え最前線に闘われる藤原委員長、千賀委員長、吉山委員長、敬愛してやまないビジョンの同志の方がたの御武運を心よりお祈り申し上げます。

最も力の強いものが生き残るのではなく
最も賢いものが生き残るわけでもない
唯一生き残れるのは変化出来るものである。(チャールズ・ダーウィン)



平成21年2月20日(金)に最終審査を公開プレゼンテーションの形で行い、応募総数92事業の中から、グランプリ(日商会頭賞)として「館山へ移住お手伝いネットワークNPO法人『おせっ会』設立(千葉県/館山YEG)、敢闘賞として「僕も私もお仕事体験『えきまえアントレ・キッズ』」(福井県/福井YEG)、「地域資源活用による名産品づくり事業『うずまバーガー』」(栃木県/栃木YEG)が選ばれました。



館山へ移住お手伝いネットワークNPO法人「おせっ会」設立

50周年記念事業に臨むにあたり、先輩方の足跡と、受け継がれた思い、感謝、そして私達の未来への歩みに対する誓いと館山YEGの誇りを込め、スローガンを「館山愛」と、いたしました。「俺たちの故郷は自然豊かな、人情味の厚い素敵なまちじゃないか!先輩方が愛して磨いて、魅力が増えたじゃないか!俺たちはその魅力を発信しようじゃないか!」ふるさと館山の人口を増やし、活気を失うことを防ぐべく「私たちのまちの住民になりませんか」とプロモーション活動をはじめました。そうして始まった、「館山へ移住お手伝いネットワーク おせっ会」は館山への移住を迎える Hospitality のネットワークです。人口を増やすだけでなく、安心して移住できる、移住した後も経験、価値観を活かし、共に「館山愛」を感じ、まちづくりに参加してもらえるそんなネットワークを実現したい!館山名物浜風に乗せ、房総半島の先端から日本中に届け、俺たちのメッセージ!



僕も私もお仕事体験「えきまえアントレ・キッズ」

福井YEGでは、地元の中小零細企業がいつでも取り組めるキャリア教育活動の一環として、平成17年度より「アントレ・キッズ」事業に取り組んでいます。この事業は単に社会奉仕活動や子供のキャリア教育だけにとどまらず、地元の企業人が自ら講師役を務めることによって、自社企業の強みや欠点を改めて分析し是正していくことも目的の一つとしてあります。平成20年度はまちづくり福井株式会社の要請により、中心市街地の商店街連合会とタイアップして「えきまえアントレ・キッズ」を開催する運びとなりました。対外的な実店舗での開催は初の試みであり戸惑いもありましたが、「アントレ・キッズマニュアル」を活用しながら会員と商店街とが一体となって企画運営することで、参加者に仕事の厳しさ、素晴らしさ、面白さを飾ることなく伝えることができました。加えて、今回の開催により衰退傾向にある中心市街地についても考える機会を与えることができました。



地域資源活用による名産品づくり事業『うずまバーガー』

栃木市は、県内において有数の地域資源保有地であります。そんな数多くの地域資源を活用して、何か栃木市の街づくりができないかと研究・会議を重ねてまいりました。郊外には肥沃な農地に、いちご(とちおとめ)をはじめ、にら、ねぎ(宮ねぎ)等の数多くの農作物が生産されております。また、食品加工業が盛んな地でもあることから、この地で採れた農産物と食品加工産業を活かして何かできないのか、市民に愛され、当市に来られる観光客にも愛されるようなものは何か、と調査研究をしてまいりました。そんな中から浮かんでまいりましたのが、ご当地バーガーでありました。「地域で採れたものを限りなく使う」をコンセプトに材料を選び、味付け、ネーミング、販路、他の団体や企業に協力をいただいての試作品づくり、試食会等、何度となく意見交換、研究、会議を重ねてまいりました。そして、私たちが栃木YEGが考え出したものが、『うずまバーガー』であります。

この他にも、さまざまな事業が「YEG事業ナビ ~ヒント満載~」に掲載されていますのでご活用ください。

<https://edesk.jp/yegdb/>

委員会事業総括

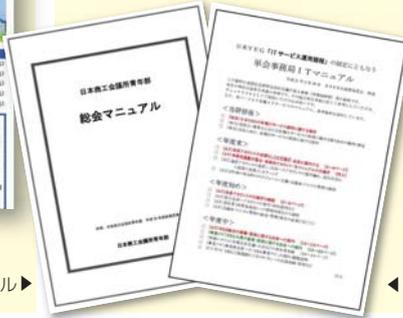


総務委員会



▲全面リニューアルしたYEG事業データベース「YEG事業ナビ」～ヒント満載～

日本YEG「役員会」の運営、春秋合わせて18回の「ブロック会長会議の運営」、WEB総会を含め3回の「総会の運営」、「YEG事業ナビリニューアル」、「第8回YEG大賞」、「エンジェルタッチの活用と利用の促進」等、ほぼ年初にイメージしていた通りに事業を行うことが出来たと思っています。今後さらに日本YEGという連合会を、全国それぞれのYEGに役立つ組織として活用していただけたら幸いです。



総会マニュアル▶

◀事務局マニュアル

企画委員会

全国大会・全国会長研修会が、参加されるメンバーにとって有意義なものとなるよう主幹地や各地単会と連携をとりながら活動するとともに、各9ブロック大会に対し協力できるような活動して参りました。また、大会のサイクルが平成21年度から変更されるため、その告知にも力をいれました。



▲高松現地調査にて



▲全国大会開催地連絡会議

変更点①: 全国大会を2月～3月上旬に移行します。



全国大会の開催を2月～3月上旬に移行することにより、充実した全国大会に向けて充分な準備期間を確保することができ、また全国大会が「年度の最大イベント」として位置づけ、当年度の事業の総括や報告を行うことができます。

変更点②: 全国会長研修会を11月に移行します。



全国会長研修会の開催を11月に移行することにより、単会の次年度への準備期間を確保して、研修会にて得た情報を運営方針の策定や行政機関との連携に、次年度会長予定者が活用できるようになります。

主な事業

- 全国大会ひわ湖大津大会に関する事業
- 全国会長研修会浜松会議に関する事業
- 平成22年度全国会長研修会ならび平成22年度全国大会開催地決定に関する事業
- 各地9ブロック大会への協力
- ブロック大会・全国大会・全国会長研修会開催地連絡会議の開催

研修委員会

一年間を通して、沢山の御参加、御応募ありがとうございました。皆様のお力添えのお陰で『オリエン・会員増強資料集』『研修の宝箱』『YEGギネスレコード2008』が出来上がりました。402単会の事務局さんを通して単会会長さんへお届けしましたので、是非、今後に生かしてください! YEGギネスレコード2008は、全国会長研修会浜松会議での登録者全員に配布後、もう少し分けて貰えないかという沢山の問い合わせやデータ更新の申込が既に来ている等、好評をいただいています。402単会を様々な切り口で捉え、ナンバーワン・オンリーワンで括った点を評価いただいているようです。若干お分けできる部数がありますので、まだお手元になくご興味がある方がありましたら日商事務局さんへお問い合わせください。



▲翔生塾の様子



主な事業

- 第6回ビジネスプランコンテスト(過去最多104プランの応募)
- 翔生塾(105名参加)
- オリエン・会員増強資料集
- 研修の宝箱
- YEGギネスレコード2008
- 全国会長研修会ガイドライン
- 全国会長研修会第1分科会担当



ビジネス推進委員会



▲リニューアルした
ご縁満開ビジネスサイト



▲YEG全国ビジネス交流会 IN大津

本年度は「ご縁満開YEGビジネスサイトリニューアル」を行い、見易さ、使いやすさの改善をし、一般に公開できる事業所紹介の仕組みやメール配信・分科会機能も新たにプラスさせていただき、各ブロック大会でブースを設けさせて頂きPR致しました。また、メンバーで補助金・助成金情報を集め一覧にしましてホームページに掲載致しました。全国大会では全国ビジネス交流会を開催し定員200名のご登録を頂き、盛会に終わり、各地で交流会開催のきっかけ作りになりました。また、商工中金の金融商品の紹介 カード事業の検討もさせて頂き、毎月、活発な委員会を行ってまいりました。少しでもYEGに入会しメリットがあった、経営が改善された・業績が上がったと言って頂ければ幸いです。ブース設営に関しまして、各地で大変多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

YEGビジョン推進委員会

提言

1 “銀行引受私募債” 発行基準緩和に関する提言

発行基準である「純資産額1億以上」の要件を「純資産額5千万円以上」に緩和する等

2 時限的な所得控除の拡大による内需の拡大について

現在103万円である所得控除の限度額を健康保険被扶養者の適用年収限度額の130万円に統一する

要望

3 法人税の中小企業軽減税率見直しについて

法人税の中小企業軽減税率の適用を現在の「法人所得800万円以下」から「1600万円以下」に引き上げた上で、中小企業軽減税率を15%に引き下げる

4 中小・小規模事業所における雇用創出のための社会保険制度の見直しについて

新規雇用時における社会保険料の時限的免除制度の導入

1 中小・小規模企業における「労働時間法制的弾力化」について

企業の規模・業種・業態・職種別による労働時間の基準づくりとそれに即した労働時間法制的改正を要望します

2 新たな信用創造と連鎖倒産防止のためのABLの積極活用促進について

- ①信用保証協会が行っている2億円の保証枠つきABL(動産・債権担保)融資の積極活用の促進に向け、金融機関への周知徹底ならびに再指導を行って頂きたい
- ②風評被害など、ABL融資制度のマイナス側面を緩和し、新たな金融手法の制度としてより社会権を得るために、政府ならびに関係省庁から市場に対してガバメントポリシーのアナウンスなどによる積極的なPRを行って頂きたい

主な事業

- 風会議の開催(若手国会公務員との交流と連携)
- 組織改革推進(内部提言)
- 地域再生推進(特区制度の紹介等)

広報委員会 —— 副委員長より

20年度広報委員会を振り返って

千葉県連千葉YEG 小川智之

もう一年が経っちゃうんですね。すごクアツという間に過ぎた一年間でした。それだけ充実していたんだと思います。

正直、広報委員会は希望した委員会じゃなかったです。元々水野さんから声を掛けられていて、研修を第一希望にしていました。しかし、うちの単会会長の手元に申込書が締切日過ぎても放置されており、ようやく提出したと思ったら、上田専務から、「小川ちゃん、わりいけど広報にいつくれへん?(←※注:こういつたかどうかわからない。私の記憶ではこうなっています。)」という鶴の一声で、広報委員会への配属が決定しました。お陰様で、水野委員長から一年間嫌味三昧、委員会では脂身トントんがカリアックに来ていなかったため唯一の専門委員経験者として副委員長を押し付けられるなど、散々でした。

でも、優秀で楽しいメンバーに囲まれて、肩書きだけの副委員長でしたが、なんとか大過なく一年間を終えることができそうです。石垣もいくつか原稿落ちがありました。日商広報部の市川さんの忍耐力と機転のお陰で発行も無事できましたし、本当に皆さんに感謝感謝の一言だけです。

ひとつだけ心残りなのは、皆とあんまり飲みに行けなかったのが、楽しい事件(?)に遭遇できなかったことです。今後は、みんなとちゃんと付き合えるために仕事もお金にも余裕ができるよう頑張ります!

本当に1年間ありがとうございました。そして、これからも一生の仲間としてよろしくお願ひ致します!

日本YEG出向を終えて

福岡県連久留米YEG 國武正義

私、福岡県連久留米YEGより出向いたしました國武です。平成2年久留米YEGに入会し、今年在籍19年で青年部を卒業いたします。平成19年度には、福岡県の県連会長をさせていただき、今年日本YEGに出向させていただいたのですが、林隆男委員長率いる広報委員会に所属しまして、当初は初めての出向でいろいろな不安がありました。昨年のカリアックでは、委員会メンバーの連帯感と言うか、10年以上一緒に活動していたかのように打ち解け、一年の活動を決めたのを覚えています。以後約一年間、全国大会、会長研修会をはじめ、春の会長会議、各ブロック大会等で広報活動を行う中で、委員会メンバーはもちろんのこと、各地域の仲間とも交流を持つことが出来、楽しい時間を過ごせました。「20年度広報委員会最高!!」卒業を前にして、久留米YEGだけでなく、県連、九州、日本YEGと素晴らしい仲間と知り合えたこと、これからの生き方を見つけれられた気がします。YEGに所属し、活動できましたこと感謝しています。ありがとうございました。

最後になりましたが、工藤会長はじめ執行部の皆様、一年間お疲れ様でした。たいへんお世話になりました。



平成21年2月19日から21日まで、全国より320単会1385名のご参加のもと第26回全国会長研修会浜松会議が行われました。参加頂きました皆様はもとより、関係各方面の皆様、心より御礼申し上げます。

開催地御礼挨拶 (大会会長・実行委員長・統括副実行委員長)



大会会長
松坂 直和

大変厳しい経済情勢下にもかかわらず、全国から高い意識を持って多くの皆様が『浜松会議』にお集まり頂きました事をメンバー同心から御礼を申し上げます。不慣れな点もあり至らぬところも多々あった事と存じますが、YEGの友情に免じてお許しをいただければと思います。リーダーの皆様が、浜松の地で築かれた志と友情をもって各々の単会の活性化や地域の発展の支えとなる壮大なシンフォニーを奏でる為の気付きのある研修会であったと感じていただければメンバー同幸いと存じます。『浜松会議』がリーダーの皆様にとって商議所青年部の将来ビジョンを明確にして成長発展させていく為の一助となることを切に願いながら全国会長研修会に『浜松会議』という新たな頁を加えさせて頂き、次年度奈良YEGさんにお渡しをさせて頂きます。大会開催にあたり多大なるご支援ご協力を賜りました日本YEGの皆様をはじめ、全ての皆様に深く感謝と御礼を申し上げますと共に、各地単会の益々のご活躍とご発展を心からご祈念を申し上げます。ありがとうございました。



実行委員長
柴田 昌宏

まず、全国320単会1380名を超えるYEGメンバー各位のおかげをもちまして、「浜松会議」を無事終了する事が出来ましたことを心より感謝いたします。折しも、昨年の秋ごろからはアメリカの金融危機に端を発する未曾有の不況に突入し、日本経済の復興に向けて、YEGの為すべきことが大きく問われる事態になりました。研修会(各楽章)や大懇親会では全国から集まった志高いメンバーがお互いを刺激しあい、友情を深める場となりました。私も浜松会議のPRのために約半年間、北海道から九州まで各地を訪れましたが、その土地で知り合った全国の方々との再会で激励を受け、熱いものがこみ上げてまいりました。YEGの魅力の一つに、こういった人と人の繋がりを強くすること、これは絶対に"ある"と思います。"山あり谷ありの準備期間でしたが、仲間と切磋琢磨して乗り切りました。この経験は私のYEGでの活動で、忘れられないものになるでしょう。お天気にも恵まれ、無事に最高の3日間を終了できたことはこの上なく幸せに思います。



統括副実行委員長
川上 貴久

厳しい経済環境の中で、まさにこの時期に浜松で開催されたことには意味のあることだったのではないのでしょうか。私たちは商工会議所青年部の果たすべき役割、存在意義等についてしっかりと勉強をし、一丸となって準備をさせていただきました。それにより全国から多くの好評価もいただくことができました。しかし「浜松会議は盛会の中で終わった」では意味ありません。むしろスタートしたばかりです。全国から参加された皆様が各地域において「浜松会議」の成果を発揮して活動し、地域をひいては日本を元気にすることではじめて「浜松会議」の評価が決まります。参加していただいた皆様が各地域でコンダクター(指揮者)としてタクトを振るい壮大なシンフォニーを奏でていただくことを期待しています。



hamamatsu

開催概要

前泊者交流会
(19日 19:00~21:00 / ホテルコンコルド浜松)



ホテルコンコルド浜松にて参加者220名を超えるメンバーと総料理長初めホテルあげでの盛大な会となりました。

開会式
(20日 12:30~13:30 / アクトシティ浜松大ホール)



浜松消防音楽隊ドリル演奏のオープニングから始まった開会式。伸びゆく大地の吹奏楽演奏は、平成2年全国大会に使用された浜松バージョン。音楽の街浜松ならではの開会式が執り行われました。

第1楽章 (20日 15:00~18:30 / コンgressセンター)



第1楽章は、日本YEG次年度山内会長予定者より次年度の所信、運営方針についての説明の後、次期単会会長、道府県連会長・ブロック代表、日本YEG出向者(各予定者)が10名の小グループに分かれ、魅力ある組織運営、魅力ある事業、YEGの存在意義や入会メリットその他・・・それぞれのテーブル毎にテーマを決めディスカッションを行いました。出席率も80%を超え、終始熱のこもった議論・意見交換が行われました。

第3楽章 (20日 15:00~18:00 / コンgressセンターまたは産業視察)

グループディスカッションのグループでは、過去の会長研修会でのアンケートで多く出現したYEGが抱える諸問題について、少しでも解決策に近付くことを目的に10人以下の小グループ編成で討議とブレインストーミングを行いました。十分な研修を行うことができるか心配しましたが、参加された皆様は熱がこもった議論を行い、ブレインストーミングでは積極的にアイデアを出して下さいました。

産業視察のグループ(81名参加)では、浜松を代表する企業であるスズキ株式会社のスズキ歴史館を一般公開に先駆けて視察訪問し、鈴木式織機からオートバイそして軽自動車へと移り変わっていくスズキ(株)の歴史やものづくりについて学びました。

第4楽章 (20日 15:00~18:30 / 産業視察・グランドホテル浜松)



第1部では、浜松を代表する企業を2社産業視察しました。ヤマハ(株)(70名参加)ではグランドピアノの製造工程を、うなぎファクトリー(45名参加)ではうなぎパイの製造工程を見た後、春華堂ならではの抹茶やお菓子を素敵なカフェで堪能して頂きました。

第2部では、塩野事務局長から、日本YEGの現状と単会事務局へのお願ひ、日本YEG総務委員会からは、ITサービス運用規程の制定と事務局ITマニュアルについて、ビジネス推進委員会から、ご縁満開ビジネスサイトや分科会についての説明をさせていただきました。

事務局の作業とその時期をまとめた資料(事務局ITマニュアル)がもらえて心強いなどの感想をいただいた一方、エンジェル・タッチの利用・活用度合い別の研修をしてほしい。マニュアルだけでなく、活用事例などの報告も欲しかったとの意見もいただきました。



大懇親会 (20日 19:00~21:00)

第1楽章登録対象者:オークラアクティシティ浜松ホテル 4階「平安の間」

第1楽章以外登録対象者:グランドホテル浜松 2階「鳳の間」

第1楽章以外登録対象者



第1楽章登録対象者

2会場に分かれ執り行われました。次年度単会・県連会長、次年度出向者を中心とした会員410名以上がオークラホテル浜松にてフルコース料理をお楽しみ頂き、同時にグランドホテル浜松では950名以上の会員が全着座形式で懇親を深めました。両ホテル共に「おもてなしの心」「地産地消」をテーマに実施しました。料理内容も全て浜松メンバーで吟味調整しアトラクションも参加会員が飽きる事のないように配慮し盛り沢山にご提供させて頂きました。



全体研修会 (21日 10:40~12:10)



阪神タイガース オーナー付シニアディレクター 星野仙一氏 を講師にお招きしての全体研修が開催されました。今後の各商工会議所青年部運営や地域活性化にはそれらを実行するリーダーシップが必要となります。そこで全体研修として、リーダーには何が必要なのか、さらにはどのようにメンバーのやる気を引き出し

ていくのかをテーマに、「リーダーが組織を変えるリーダーシップで組織は変わる!」の演目で独自の基本理念やリーダーとしてどのように組織をコントロールしてきたか等について、実体験に基づいたお話いただきながら、今回参加した商工会議所青年部である若手経済人に対し今後の活躍にエールを送りました。

閉会式 (21日 12:10~12:30)



次年度会長研修会・全国大会のPRに続き、主催の日本YEG執行部・主管の浜松YEG執行部が登壇し、閉会の言葉と閉会宣言を執り行い第26回全国会長研修会浜松会議に幕が下ろされました。